

2025年4月27日

## 2024年度「多摩地域市民活動公募助成」事業実施報告書

団体名 コミュニティーレストラン「木々」  
代表 鈴木 美紀

## ▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調でお願いします。報告書に掲載するため活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

## 1. 助成プロジェクトの名称

子どもの健やかな育ちを支援する食と学びの居場所事業

2. 団体の概要(創設の経緯、創設時期=法人で、法人化前に任意団体での活動がある場合、その段階からご記入ください。  
会員数など。180文字程度まで)

- 地域で暮らす多世代の人々が気楽に立寄れ、ほっこりできる居場所をめざして、  
2000年に仲間9人と出資金と援助金、約1000万円で設立しました。  
○収益事業としての「ランチ＆カフェ」のかたわら、コミュニティー事業を順次立ち上げ、「子ども食堂」などの子供向けから、「絵手紙・俳句」などの大人向けまで計10事業を展開しています。直近の利用者総数は、年間のべ5000人を超えるました。

## 3. プロジェクトの目的とその背景(※応募申請書に記載のものでも可) 250文字程度まで

経済格差が拡大する中で、さまざまな事情で親が精神的に余裕を失っている家庭が増えています。まずは「食支援」は全ての課題につながる入口と考え、プロジェクトを通じた信頼関係作りをめざします。そうすると、子どもたちがフツとした瞬間に漏らす言葉に大切な情報が含まれている場合があり、そこから支援のニーズの把握や、公的支援に結びつけるケースも出てきます。さらに、「宿題ルーム」を通して、家庭、学校以外の第3の居場所を作ることで、地域の様々な人や組織などとの連携をすすめ、子どもたちが安心して過ごせる環境の確保に取り組みます。

## 4. プロジェクトの内容(※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のものでも可) 300文字程度まで

## 「みんなで晩ご飯」

月間2回(17時～19時)開催。利用者層は、孤食になりがちな子どもから高齢者、子育て中の親などが参加。食材調達から料理まで担当するスタッフ1名のほか、ボランティアで支えました。

## 「フードパントリー」

月間1回、土曜日の昼に開催。地元企業、市内のこども食堂の連絡会、社協などの協力も得て食を確保しました。一連の作業はボランティアが担当しました。

## 「宿題ルーム」

平日の15時～17時まで、月間7回程度の開催を行いました。小学校低学年を中心に子どもたちに、家庭、学校以外の第3の居場所を提供できました。先生役は元教師のボランティアを主体に、民生員、学生などの協力も得ました。

## 5. プロジェクトの実施で得られた「結果」(OUTPUT。実施回数や参加者数など)、「成果」(OUTCOME。事業によって生まれた直接的な変化)、「社会的な変化」(IMPACT。事業が社会に与えた影響)などの『効果』 300文字程度まで

- 2024年度の年間開催回数とのべ利用者数は、「みんなで晩ご飯」が22回、401人。「フードパントリー」が10回、682人。「宿題ルーム」が91回、588人となり、3つのプロジェクト合計でのべ1,671人の利用となりました。

○「みんなで晩ご飯」では子どもたちと高齢者の間で会話が盛り上がり、世代間の交流が生まれました。また、「フードパントリー」で並んでいた子どもが「宿題ルーム」にも来てくれるようになり、プロジェクト間の横の展開も図れました。

○「みんなで晩ご飯」に参加の親子が他の親子と「次回も会おうね！」と誘い合う光景には、地域のつながりが芽生える瞬間に立ち会えた思いがしました。このようなつながりで次の効果を期待します。

#### 6. プロジェクト実施にあたっての課題、今後の展望など 300文字まで

○「食支援」のプロジェクトでは、この間、食材の寄贈が減少しました。寄贈されたものも、主食、副食に向くものが少なくなる傾向でした。また、お米をはじめ、食材の値上がりが顕著で、提供メニューに影響が出ました。

○一方、「食支援」の足元での利用者数の伸びは著しく、年度の下期は上期と比較して1.5倍ほどの傾向です。そのような中で、いかに需給のバランスを取りながらプロジェクトの継続を図るかが課題となります。

○一方で、プロジェクトの社会的意味合いを理解して支えてくれる方々の広がりを感じており、ボランティア活動に加わりやす環境づくりに目を向けて行く考えです。

#### 7. 参考資料：プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等の現物またはコピー、活動状況の写真などを、必ず、別途、ご提供ください。

☆2022年に開始

☆毎月第1金曜と第3月曜  
午後5時から7時まで

☆孤食の高齢者と子育て世帯  
大家族のようにワイワイ交流  
☆毎回10人から20人が参加

## みんなで晩ご飯



## ある日の フードパントリー



- ☆毎回20世帯向けに袋詰め！
- ☆この日は地元のジャガイモや  
キュウリなども！

## ある日の 宿題ルーム



- ☆先生役は元教師や民生委員も！
- ☆宿題の後はゲームやおやつタイム
- ☆クリスマスなどのお楽しみ会も！

# もくもく しゅくだい 木々の宿題ルーム

宿題ルームでは、お友達がたのしく勉強をしています。  
いっしょに宿題をしましょう。復習もしましょう。  
だれでも来ていいところです。お友達とさそいあっても、  
ひとりでもだいじょうぶ。



さんすう こくご にかてな子も、  
**算数、国語、にかてな子も、**  
みんな集まれ！

じかん ごご  
**時間：午後3時～5時**

\*この時間内で  
いつ来てもいいです

もちもの しゅくだい ひっきょうぐ  
**持ち物：宿題、筆記用具**

**クリスマスなどにはお楽しみ会も開きます**

ばしょ 場所：コミュニティー・レストラン「木々」

住所：西東京市保谷町6丁目25-1-101

☎ 042-425-6800 (鈴木) 担当：☎090-4667-0116 (千葉)

この事業は 真如苑 多摩地域市民活動助成金で運営しています